

## 政治Ⅱシケプリ

文責：文ⅠⅡ22組 東條

### ・政治学とはどのような学問か

政治学：political study

political theory（政治思想の意も）

political science

#### ■政治学の意味：政治学は「役に立つ」か

・政治学は学問と対象が離れていることが特徴の一つ

e.g.) 医学を学んで医者に

法律を学んで法律家に

経営学を学んで経営者に

政治学を学んで政治家に??

つまり、政治学は実務的とは言えない。

しかし、実務的でないと役に立たないのか

→政治を見る「目」を養うことが大事

e.g.) 今、我々の行っている **democracy** とはどのようなものなのか、等

#### ■政治学の方法論

◇単一の「パラダイム」を持たない

・パラダイム (paradigm)：模範的理論体系

e.g.) ニュートン力学、地動説、マルクス経済学

政治学以外の、パラダイムを持つ学問は一つの学問分野 (discipline) としてのまとまりが強い。それぞれが固有の領域を持っている。

・1980年くらいまでは体系性あり

…政治思想史から入って、次に政治史を学び、その後原論をやるのがよい、というように順序立てられていた

・他の学問分野の理論を受容

…1950年代にアメリカで起きた行動論革命 (Behavioral Revolution) で、制度にばかり視点が行ってた (この頃の政治学は、憲法論などに近かった) 政治学が、人間の実際の行動に目を当てた。この際自然科学的手法を用いた他、心理学や経済学、数理的理論の知見を導入した。更に他にも、社会学や経済学から組織論を参考にした。

しかしこの結果、逆に「組織論の専門家の政治学者」「経済学の専門家の政治学者」といったように政治学者が多様になり、政治学全体に共通するものが希薄になった。

(この「共通するもの」こそが、本来「政治学のパラダイム」と呼ばれるべきもの)

◇政治学固有の領域とは

・政治を分析し、その特質を認識するのが、政治学者の役割

これこそが政治学の要請であり、その学際性にもかかわらず政治学がほかの学問分野に解消されてしまわない理由

## 020 現代政治学

参考：政治Ⅰシケプリ

### 021 特徴

#### 3. 学際性 (interdisciplinary)

古代ギリシャにおける「哲学」とは政治学

すなわち、政治学は古くからある学問だった

新しく生まれてきた学問（経済学や心理学など）は自然科学の姿勢を見習った

しかし政治学は、規範の問題と切り離すことができないので自然科学の姿勢を見習えなかった

そこで、経済学や心理学など、自然科学の姿勢に基づいたさまざまな学問分野の知識を引いてくることで、自然科学的な姿勢を獲得しようとしたのが現代政治学

### 022 現代政治学の歴史

#### 1. 行動論革命 Behavioral Revolution

人間の行動のデータをたくさん集め、そこから結論を出していこうとした

## 1. 政治 (politics)

### (1) 「政治」の定義

politics : 語源はギリシャ語の polis = 公共の事柄

polis は private な集団とは質的に異なるもの、とみなされた

- ① 公的意思決定過程に関わる人間や集団の行為や相互関係 (政治過程) に着目する見方  
= 利益中心の見方 (利益集団の活動に着目)

この見方に従うと、政治とは

◇それぞれの利益の最大化を目指して、公的意思決定過程に影響力を行使しようとする  
個人や集団の競争的活動

平たく言えば、それぞれの利益集団が自分の利益を追求するのが政治

…多元主義的 (pluralistic) な見方

- ② 権力中心の見方

この見方に従うと政治とは

◇権力の形成と配分 (Harold D. Lasswell)

◇コントロール、影響、権威を多くの程度において含む人間関係の持続的パターン  
(Robert Dahl)

- ③ ある社会に対する「価値の権威的配分」(David Easton)

価値 : 金銭等

権威的配分 : その社会の大部分の人にとって、通常拘束的なものとして受け取られる決定による配分

e.g.) 税金払え

- ④ 公共性を重視する見方

※ 政府の「政治」とその他の「政治」の相違 = 公共性

politics < polis (公共の事柄) ← private な集団 (学校、会社など) とは質的に異なる

…例えば、利益や権力を中心とした見方に基づく政治の定義 (順に、それぞれの利益の最大化を目指して、公的意思決定過程に影響力を行使しようとする個人や集団の競争的活動 / コントロール、影響、権威を多くの程度において含む人間関係の持続的パターン) は学校や会社にもあてはまる。金銭等の配分も会社でも行われる。

◇ Bernard Crick

政治学 : 社会全体に影響を与える利害と価値をめぐる生じる紛争についての研究であり、またどうすればこの紛争を調停することができるかについての研究

政治 : 与えられた統治単位内における諸利益の対立を、それぞれの利益が共同体全体の福祉と生存に対して持つ重要性に応じて、権力に参加させつつ、調停するところの活動

赤字から、Crick が政治を考える際に「公共性」を重視していることが分かる。

◇佐々木毅

政治 : 自由人からなる一つの共同体の中での公共的利益に関わる権力を伴った、多元的主体の活動

「自由人」という条件がない場合、すなわち、その集団のメンバー全員が自由であるとは言えない場合、具体的には奴隷制度や絶対王政の下では、「公共性」は成立しない。逆に、政治の定義に「自由人」という条件を入れている点から、佐々木毅も政治において「公共性」というものを重視していると言える。

■政治Ⅱの授業での「政治」の定義

「公的権力によって、多元的な利益・価値を調整・統合し、公共の利益を実現する活動」

- ・ 利益 : 物質的、利己的なイメージ
- ・ よって「利益」より「価値」の方が、意味が広い
  - 「利益」は物質的な価値を指す。精神的、道徳的価値は含まない
- ・ 調整・統合 : 多元主義的な言葉の使い方
- ・ 利益は意識されているとは限らない
  - 無自覚的な利益に気付かせるのも政治の役割
- ・ 利益・価値を創造するのも政治

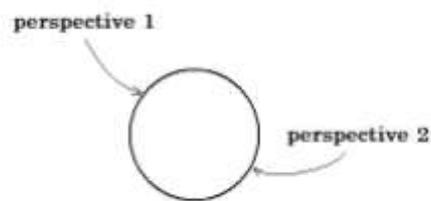
※規範的概念と叙述的概念

- ・ 規範的概念とは簡単に言えば規範のこと
- ・ 叙述的概念は現実をありのままに描いたもの

政治に関する定義は規範的概念

現実の政治をありのままに表現する定義などあり得ない

- ∴ あらゆる概念は、特定の価値観 (value) や視座 (perspective) に基づいて切り取られる
- つまり、視座が異なれば、切り取られる概念も変わってくるということ (右図のようなイメージ)



ある概念にある定義を与えるということは、特定の視座に基づいて現実を切り取ること (↑規範的営為)

- ・ 叙述的概念に近い規範的概念…保守的
- ・ 叙述的概念から遠い規範的概念…新たな定義 = 現実の新たな側面を認識
  - 批判・変革へ

## (2)「政治」と「行政」

### ■主体に着目した見方

- ◇政治＝政治家の活動      政治家…公選された人間
- ◇行政＝官僚の活動      官僚…国が任命した人間
- 政治優位に見える

### ■機能に着目した見方

- ◇政治＝諸利益・諸価値の調整・統合      …政策決定
- ◇行政＝調整・統合の結果（＝公益）を実現      …政策立案、執行
- イニシアティブを握っているのは行政

これらの区別は当然、理念的なもの。現実に峻別されているわけではない

### ■政官関係：政党優位（日本型多元主義論の立場）か、官僚優位か

#### ◇族議員の活動

- …族議員とは、一定の専門分野の政策決定に力を持つ議員のこと
- こういう人がいるから、日本型多元主義論が生まれる
- 一方で族議員がイニシアティブを握っているわけではないのも事実

#### ◇「行政的政治家（＝族議員）」と「政治的官僚」

↑「機能」の見方から生じる問題意識

## 2. 政治システム論 (political system)

### (1) 政治システム論 (David Easton)

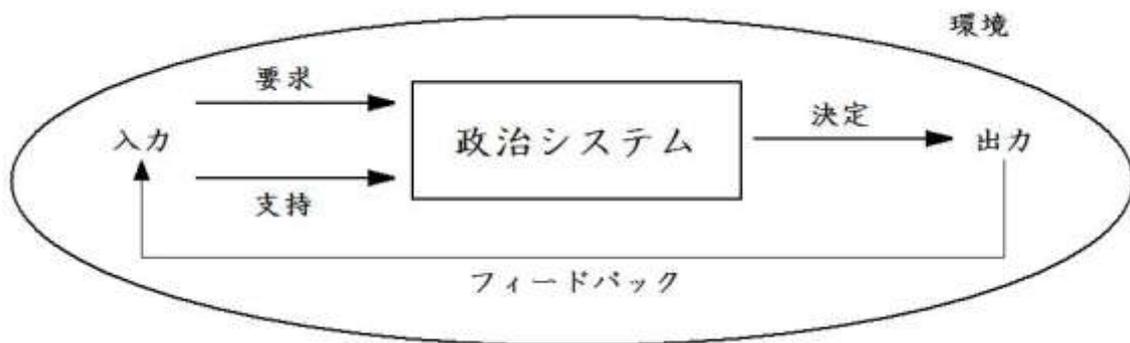
政治システム論…行動論 (←科学的分析を指向) の代表的なもの

政治を抽象化・概念化して、科学的分析の対象にすることを試みる

システムとは …相互に関連を持つ諸要素によって構成された統一的全体

■政治システム: 「政治的と呼ばれうる具体的な社会活動の統合的に関連付けられた諸側面を確認するための分析的用具」

…つまり、政治を科学的分析の対象にしようということ



・環境

…政治システムの外のもの

- ・社会内環境…自然的条件 (生態系)、パーソナリティ、社会システム (文化、経済)
- ・社会外環境…国際政治システム、国際社会システム

■政治システムの3層

- ①決定者 (authorities) …政府、価値の権威的配分を行うもの
  - ②体制 (regime) …要求を解決するためのルール、憲法上の原理・デモクラシー等
  - ③政治的共同体 (political community) …同じルールを共有する集団、「日本人」等
- ・ ①②の変化 = 政治システムの変化
  - ・ ③の変化 = 政治システムの崩壊

■入力

・要求 (demand)

問題の処理・解決をもとめるもの、圧力 (stress) とも

要求が多すぎると過負荷 (demand overload) の状態に陥り、政治システムは支持を失う場合もある

→要求をふるいにかける (要求を整理・変形する) 必要がある

それを行うのが gate keeper

e.g.) 政党、利益集団、マスメディア等      ストレスを緩和する

・支持 (support)

…政治システムに対する、協力的・賛成的態度

①一般的支持 (diffuse support)

政治システム全体、政治システムの規範への支持

e.g.)一般的支持が政治システムの3層の①決定者②体制③政治的共同体にそれぞれ向けられた場合、①日本政府支持②日本国憲法支持③日本国支持、となる  
個々の出力とは無関係

②特定支持 (specific support)

特定の出力に対する支持

システムの維持・メンテナンスには一般的支持が重要

これを得るためには**政治的社会化**が必要

政治的社会化…その社会で共有されている政治的価値観を内面化・習得させること  
教育によって行われる

e.g.)税金は払わなければならないものですよ

投票には行かなければなりませんよ

憲法9条はすばらしいですよ

■出力とフィードバック

・出力

…政策、諸価値の権威的配分等

・フィードバック

…出力のもたらした影響を認識する過程

①システムそれ自体と環境の現状に関する情報入手

②構成員の要求と支持に関する情報入手

③出力の効果に関する情報入手

フィードバックが多いことがシステムの維持・存続に重要

**批判**

・システムの存続 (現状維持) に主眼が置かれている

→保守的すぎる

・環境と政治システムの関係に重点

→政治システムの構造・体制変化への考察が少ない

## (2) サイバネティクス論 (Karl W.Deutsch)

- サイバネティクス (cybernetics): 組織におけるコミュニケーションとコントロールの科学

cybernetics…「舵手」の意味のギリシャ語 (kybennete) が語源

あらゆる組織はコミュニケーションによって統合され、自己制御していく

- 政治は「操縦 (steering) の問題」

…操縦は、コミュニケーションと自己制御による

- フィードバックによる学習と自己制御

※当然だが、学習や自己制御をするのは政府

※Deutsch が「政治システム」という単語を使うときは、「政府」とほぼ同義

◇ 正のフィードバック

…最初の行動を増幅していく

「正」という単語に惑わされそうだが、こちらの方が病理的

政治システムを破壊しかねないフィードバック

e.g.) 抑圧的体制 → 不満爆発、デモ → 抑圧強化 → 革命?

↑これが正のフィードバック。病的。

◇ 負のフィードバック

…目標達成に向けて行動を変更・修正

・ 目標追求フィードバック → 「単調な学習」

…目標は変更せず、手法を変える

・ 目標変更フィードバック → 「複雑な学習」

…目標そのものを変える

環境と政治システムの間葛藤、conflict

→ 政治システムの自己変革

→ 政治システムの成長

### 批判

- ・ エリート主義的、テクノクラシー（「技術者」による支配）
- ・ 「権力」の軽視

## (3) 構造機能分析と政治文化論 (Gabriel A.Almond)

- 構造機能分析: あるシステムにおいて、いかなる構造がいかなる機能を担っているか

・ あらゆる政治システムには構造があり、政治システムの発展に伴い構造は分化していく

・ 発展が進んでも、機能は同一

・ 政治構造は多機能的で、同時に複数の機能を持つ構造もあるが、発展に伴って構造は分化していくので、次第にそれぞれの構造の機能は限定されていく

- e.g.)中世…絶対王政      王が行政権、立法権、司法権を掌握  
 近代…三権分立      内閣が行政権、議会在立法権、裁判所が司法権を持つ
- ・ 構造分化が最も進んでいるのは、欧米の政治システムだ、とした
  - ・ 基本的構造
    - ① 選挙民とコミュニケーション・メディア
    - ② 圧力団体 (pressure group) (利益集団 (interest group))
    - ③ 政党
    - ④ 議会
    - ⑤ 政府と官僚制
    - ⑥ 裁判所
  - ・ 入力機能
    - a) 政治的社会化と補充 (政治家や官僚を養成する、有権者を増やす等)
    - b) 政治的コミュニケーション (世論を伝える、世論をシステムに input する)
    - c) 利益表出 (こんな政策をしてくれ、と利益 (要望) を表明する) e.g.) 経済対策してよ
    - d) 利益集約 (表出した利益 (要望) をまとめる)
      - ↑ まとめないと demand overload になる
      - まとめてから input する ref.) P.6 「・要求 (demand)」
  - ・ 出力機能
    - e) ルールの作成 (立法)
    - f) ルールの適用 (行政)
    - g) ルールの裁定 (司法)
  - ・ ①～⑥の構造が、それぞれ順に、b～g の機能を担う  
 a の機能は政治システム全体によって達成される

#### ■ 政治文化論 (Sidney Verba と共同)

↑ レジュメの綴りは誤り ww

- ・ 政治文化：政治的対象に対する指向のパターン
  - …指向には3つの次元がある
    - ① 認知…政治的対象に関する知識があるか e.g.) 今の首相は誰か
    - ② 感情…好きか嫌いか等
    - ③ 評価…政治的対象に対し、どのような評価、意見を持っているか
- ・ 4つの対象に対してどのような指向を持っているかによって、政治文化を類型化
  - ※ 「類型」なので、政治文化の型は当然理念的なものであり、すべての国が必ずどれかの型に属するというわけではない。むしろ多くの国は複数の型の混合型

4つの対象

- ・政治システム …政治の仕組み全体（一般的意味）
- ・入力対象 …政党、圧力団体
- ・出力対象 …行政機構や、その政策
- ・参加者としての自己…政治に参加する主体としての自分をどう考えているか  
（＝市民としての自己）  
e.g.)自分は選挙の投票などいなくてよい、と考えているなら、  
下の表のマスには「0」と記入される

	政治システム	入力対象	出力対象	参加者としての自己
未分化型	0	0	0	0
臣民型	1	0	1	0
参加型	1	1	1	1

0：関心なし 1：関心あり

未分化型 e.g.)イタリア

4つの対象にほとんど関心なし

臣民型 e.g.)ドイツ政治システムや出力対象といった、**output**には関心

入力対象や参加者としての自己が「1」になるには、受身の状態を超えた積極性が必要だが、そこまでの積極性はない

参加型 e.g.)アメリカ自国の政治に深い意見、評価を持つ 政党等に自ら関与  
政策を観察 「市民」の意識が強い

- ・理想は、臣民型と参加型の混合型とした
- 政治家をある程度尊敬し、恭順性がある
- このような状態を「市民文化（civic culture）」と呼んだ
- 市民文化があると、政治的安定性が高い

**批判**

- ・政治文化は個人の意識からははかりきれない
  - …無意識に構成されている部分も、政治文化にはある
- ・近代化の発展段階に合わせた類型化
  - …英米が最も近代化の進んだ国だという考えの下、すべての国は「未分化型→臣民型→参加型」のように発展する、とした（収斂理論）
  - …国ごとに独自の政治文化があるし、英米の政治文化が理想的とも限らない

### 3. 権力 (power)

・一般論

権力とは、相手に望まないことを強制的にやらせる力

#### (1) 代表的な権力論

##### ① Charles E. Merriam

↑現代政治学の父 戦前のアメリカ政治学の権威

- ・権力に関する叙述を重ね、権力の性質を明らかにしていこうとした
- ・政治権力の分析が主

##### ■権力の生誕と死

- ・「権力とは、**集団の統合現象**であり、集団形成の必要性や有用性から生まれる」
- …集団の統合を行うのが、権力者

##### 権力の生誕

権力を生み出す要因

##### 1) 社会諸集団の緊張関係

→組織化された集団行動

##### 2) パーソナリティの諸類型

→まとめ上げる必要がある

すべての人を社会に適応させねばならない

##### 3) 権力追求者や指導者

→こういう人たちが、社会において 1) や 2) を進める 調整者

##### 権力の死

- ・ 集団の関係の不均衡
  - ・ パーソナリティ間の調整不全
  - ・ 政治社会の基本的な機能の遂行（利益の調整等）の失敗
- ←権力が社会変化についていけないようになる

##### ■権力の表と裏

##### 権力の表

ミランダとクレデンダ=権力を**心理的に**補強するもの 権力を飾るもの

→権力の安定を生む

e.g.) おき出しの軍事力で民衆を服従させている状態よりも、民衆が権力者を信頼し、自発的に従う状態の方が安定的

・ミランダ：賛嘆されるべき様々なもの

大衆の情緒、感情に作用する 非合理的側面

権力の威容を示したり、愛国心を高めたりすることで、国民が権力に敬意を払い、自ら服従するようにする

- e.g.)旗(国旗)、装飾品、肖像、音楽、歌曲(国歌)、公共の場所及び記念碑的道具、記念日(建国記念日等)及び記憶に残されるべき時代(独立戦争等)、念入りに仕組まれた儀式、制服等の芸術的デザイン、物語(建国の神話等)、歴史(建国の歴史等)、行進・演説・音楽等を伴う大衆的示威行為、建物(国会議事堂等)
- ・クレデンダ：信仰されるべき様々なもの
  - 大衆の知性に作用する 合理的な側面
  - 3つの形態
  - ①政治権力は唯一神によって定立された e.g.)戦前日本の天皇制、王権神授説
  - ②政治権力とは卓越したリーダーシップの最高度の表現 e.g.)カリスマ
  - ③政治権力とは何らかの形の同意を通して表現された、多くの人々あるいは多数者の意見 e.g.)デモクラシー

### 権力の裏

…暴力、汚職、偽善等 残忍性、硬直性を持つ

#### ■権力の技術

社会の構成についての正確な知識、政治的報償の分配、賢明な妥協(リーダーシップ、リーダーに相応しい知性、を示す)、正義と秩序の均衡、自己放棄・自己犠牲(利他主義でない人は従わない)等

- ・被支配者にも自己犠牲は必要

…支配者は被支配者の自己犠牲の気持ちを引き出す必要がある

それができず、被支配者が「なんでこの国のために動かなければならないの？」

などと言い出したら、その国は終わり

### ②Harold D.Lasswell

↑メリアムの弟子

- ・「価値」に着目して権力を分析

- 権力関係：ある行為の型(「～しろ」とか「～するな」とか)に違反すれば、その結果、重大な価値剥奪(命を奪うとか、身体を拘束するとか、財産を奪うとか)が期待されるような関係

#### ■尊敬価値と福祉価値／基底価値と目標価値

- ・尊敬価値：権力、尊厳、道徳、愛情
- ・福祉価値：健康、富、技能、知識

人間は多様な価値を追求する

→価値を得るには、他人をコントロールする必要がある

→価値を追求するのは他人も同じなので、価値付与や価値剥奪によって他人をコントロールし得る

…つまり、コントロールの手段として、価値を用いている

＝ある価値を手段として、他の価値を入手

この際、手段として用いられる価値を**基底価値 (base value)**、目標とされる価値を**目標価値 (scope value)**と呼ぶ

8種類の尊敬価値と福祉価値のいずれもが、基底価値にも目標価値にもなり得るので、基底価値と目標価値の組み合わせは64通りある

■「政治的人間」…権力を優先的に追求する人間 **political man**

・  $p \} d \} r = P$

p: 私的動機 (権力欲求)

…成長過程の価値剥奪に対する補完の手段として、権力を追求

e.g.)挫折、いじめ→「見返してやる！」

d: 私的動機の公的目標への転移

r: 私的動機の公的象徴による合理化

P: 政治的人間

■政治的人間の3類型

…フロイトの影響を受け「無意識」に着目した政治的人間のパーソナリティ分析をした政治学に精神分析学を導入

・強迫型…細かい点にこだわる、人間関係処理が細かい、他人に責任転嫁する→官僚

・劇化型 …他人に注目されて情緒的な反応を得たい、自己顕示欲が強い→煽動家

・冷徹型 …精神生活から感動が失われている→外交官、仲裁人

**2 1 0 政治人 (political man) の理論 …H. D. Lasswell**

参考: 政治Iシケブリ

**2 1 1 基本的な考え方**

(2) 社会観

3. 政治人の定義

政治人: さまざまな価値の中で**権力**という価値を最も重視する人間の類型

**2 1 2 政治人の定義**

$P = p \} d \} r$  } : 変換記号

P: 政治人

p: private motives (個人的な動機)

Lasswellはフロイト主義者なのでとりわけ**幼少期の家庭環境**を重視

Oedipus Complex…男の子が父親に対して持つ複雑な憎悪

(尊敬する一方、母親をめぐる対立)

Oedipus Complex ⇔ Electra Complex

d: displacement (置換え)

無意識のうちにある目的を別の目的に置き換える

r: rationalization (合理化)

p (個人的な動機) をr (合理化) して**public interest (公共の利益) のためのものとする**

## 213 類型学

## (1)

性格型	政治的タイプ
強迫型 compulsive	官僚 administrator
劇化型 dramatizing	煽動家 agitator
冷徹型 detached	外交官 diplomat 仲裁者 conciliator

## (2) 説明

家庭環境+日常の行動→性格型（類型化された）を判断

⇒政治的タイプ（類型）を判断

強迫型…家庭に恵まれている 経済的に豊か 社会的地位も高い

父…厳格、冷徹 母…気取っている、体面を気にする

愛情、温かさのない家庭 年の離れた兄弟がいる 男二人で長兄

親の愛情を獲得しようと兄弟同士で張り合う（互いに競争相手）

…性格としては

物事をパターン化して処理 細部を気にする 感情が表に出ない

…政治的タイプ

官僚 規則一点張りの小役人

劇化型…常に緊張した家庭

父親が下層階級、母親が中産階級だとなることが多い

→母親は、自分は下層階級の男と結婚して落ちぶれたと思っている

しかし自分の人生は取り戻せない よって子供に人生を託す

→父親は自分が軽蔑されていると感じる

口では母にかなわないことが多い よって暴力に訴える DVの嵐

→子は常に親の様子をうかがう

人の感情を読むのがうまくなる

…性格としては

他人をあっど驚かす 顕示欲が強い 細部にはあまりこだわらない

視野が広く頭が良い 多様性、新しさを好み、順応が早い

…政治的タイプ

煽動家 人の心をつかむのがうまいが長続きしない

冷徹型…得られた資料が少ないので、Lasswell自身も自信をもっていない

愛、怒りなど感情があまりない 冷酷無慈悲

こういう人が権力に価値を見出すと

…政治的タイプ

外交官、仲裁者

## ③ Robert A. Dahl

- ・戦後のアメリカ政治学の権威
- ・政治科学を意識し、権力を数量的に捉えようとした

010 政治科学 (political science) ≡ 現代政治学とは何か

参考：政治Iシケプリ

013 政治科学 (political science)

…経験的 (empirical) な学問

自然科学の姿勢に倣い、現実の政治を観察して、理論を立てていく

加えて、

ref.) P.2 「参考：政治Iシケプリ」 ※現代政治学≡政治科学と捉えていい

■権力の定義

「他からの働きかけがなければ、 $a$  がしないであろうことを、 $A$  が  $a$  に行わせることができたとき、 $A$  は  $a$  に対して権力を持つ」

$$M\left(\frac{A}{a}:w,x\right) = p(a,x|A,w) - p(a,x|A,\bar{w}) = p_1 - p_2$$

$M$ ：権力の大きさ  $w$ ：働きかけ  $\bar{w}$ ：働きかけなし  $x$ ：行為  $p$ ：確率

つまり、

$$M\left(\frac{A}{a}:w,x\right)$$

$A$  が  $w$  という働きかけを行ったさいに、 $a$  が  $x$  という行為を行うか、ということに関する  $M$  (権力の大きさ) は、

$$p_1 = p(a,x|A,w)$$

$A$  の  $w$  (働きかけ) の下で、 $a$  が  $x$  (行為) する  $p$  (確率) と、

$$p_2 = p(a,x|A,\bar{w})$$

$A$  の  $\bar{w}$  (働きかけなし) の下で、 $a$  が  $x$  (行為) する  $p$  (確率) との、

—

差

で決まる、ということ

人と人との関係に注目している ref.) P.17 「■関係的権力観」

■現代の民主的社会における権力

“who governs?” 統治するのは誰か

- ・古代…王
- ・現代…国民？官僚？財界？政治家？

現代では権力の所在は明らかでない

・ 政治的資源の累積的不平等から非累積的・拡散的不平等へ

政治的資源…富、社会的地位、情報、人気等

※ 民主的になるということは「不平等→平等」ということではない点に注意

民主的 ≠ 平等

累積的不平等

	A	B	C
X	○	○	○
Y	○	○	○
Z	.	.	.

A、B、C…政治的資源 X、Y、Z…人、または集団

- ・ 一部の人がすべての政治的資源を大量に持っている
  - ・ 持っていない人はほとんど何も持っていない
- 不平等が累積している

非累積的不平等

	A	B	C
X	○	○	.
Y	○	.	○
Z	.	○	○

A、B、C…政治的資源 X、Y、Z…人、または集団

- ・ 公的機関に影響を及ぼすための資源が異なった範囲で分布  
ある資源で優位な人は別の資源では優位ではない、という形になっており、皆が何かしらの公的機関に影響を与え得る資源を利用可能
  - ・ 他の資源を支配するほど強力な資源は存在しない
  - ・ 個人でも集団でも、政治的資源を全く欠いているものはない
- 多元的な社会集団がそれぞれ異なった範囲で限定された権力を分有（多元主義）  
ただし、影響力の序列は争点領域（issue area）（政策分野）ごとに異なる  
…誰が案を出し、どこが修正され、どれが拒否され、どれが採用され、ということを実際に観察し、点数化することで影響力を測定  
↑ いかにも政治科学的な方法

## (2) 権力の様々な見方 (様々な権力観)

### ① 実体的権力観と関係的 (機能的) 権力観 (丸山眞男)

■ 実体的権力観: 「権力を人間あるいは人間集団が『所有』するものとみる立場、すなわち具体的な権力行使の諸態様の背後にいわば一定不変の権力そのものという実体があるという考え方」

- ・ 具体的な権力行使の諸態様=AがBに強制的に何かをやらせる  
→ 何故こういうことが可能か? …Aが権力を所有しているから という考え方  
権力は「所有」できる「**実体概念** (=形のあるもの)」として捉えられている  
具体的には「経済力 (=富)」「物理的強制力 (=軍隊)」「人間的魅力」等  
こうした実体を権力手段として権力を行使する

・ 実体的権力観をとる人

ラズウェル (権力手段は「価値」という実体) ref.) P.12 「■ 基底価値と目標価値」  
マキャベリ

マルクス (資本家は、「生産手段」という実体を権力手段として保有)

#### 問題点

Aが一定の権力という実体を持つとしても、Bがそれをどう受け取るか (perception)

(=Bの主観的イメージ (価値のスケール)) によってAの権力の効果が変化

e.g.) Aは強い軍隊を持つ しかしBはそれを過小評価 → BはAになかなか従わない

Cは軍事力も経済力もない しかしDはCを尊敬 → DはCに従う

こういった事例は、実体的権力観では適切に評価しにくい

→ 権力は「実体概念」としては測りきれない

→ 「**関係概念**」として捉えるのがよい、というのが関係的権力観

■ 関係的権力観: 「権力を具体的な状況における人間あるいは集団の相互作用において捉える考え方」

・ Aの力でBの行動を変えられるかが重要

…権力を**機能**あるいは**実効**として見ている

・ 実体としてAがある程度の権力を持っていても、Bを動かさなければ無意味

※ この場合、実体的権力観だとAは権力あり、と見なされる

この違いは、「どちらが正しいか」という問題ではなく、両者のメリット・デメリットを考えて、状況に応じて使い分けることが重要

・ 権力関係は、服従する者が服従への内的意味付けを持つ (納得して服従する) とき、より安定的になる

納得していないと、毎回従うとは限らない ⇨ 納得していれば、いつも従う

いつも従う = 安定的権力関係 = 支配関係

・ 関係的権力観をとる人

ダール

## 1 2 0 影響力 influence の理論

参考:政治Ⅰシケプリ

### 1 2 3 歴史的源泉

#### (2) 実体的権力観

17世紀に力学(物理学的)が発達すると、権力=支配する「力」と考えられた

「力」…物理的・具体的なもの

相手の意思に関係なく行使可能

これを”ultima ratio”(理性を超えたもの)と呼んだ

権力の基礎(力の源泉)はどこにあるか、ということも物理学からの類推で考えられた

権力の基礎は…

- |                       |                             |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 実力=軍事力             | …マキャベリ                      |
| 2. a. 血統              | } …マックス=ウェーバー<br>” 支配の三類型 “ |
| b. 法律                 |                             |
| c. 超人的能力、資質(charisma) |                             |
| 3. 富(生産手段)            | …カール=マルクス                   |

#### (3) 機能的権力観

権力=人と人との関係において生ずるもの

よって権力とは、社会的に「特別な」人「エライ」人が持つとされる **leadership**

この考えに、行動論革命によって生まれた大衆主義(一般の人に着目)が加わって、**influence**の理論が誕生した

#### ■歴史的状況と二つの権力観の結びつき

##### ・実体的権力観が優位な状況

…体制が固定的で階級のあるいは社会的流動性が乏しい国ないし時代

- ・体制が固定的…貴族制等
- ・体制が階級的…労働者の子供が支配階級になる、ということが起きない状況
- ・社会的流動性が乏しい…農村生まれの人間が都市で成功する、ということが起きない状況

…実体としての権力が強い

…このような状況では政治権力の専制性や暴力性を強調するイデオロギーが権力観と結びつきやすい

e.g.) ドイツ=マルクス

##### ・関係的権力観が優位な状況

…政治権力による社会的価値の独占性が相対的に低く、コミュニケーションの諸形態が発展し、社会集団の自発的形成とその間(及び国家と諸社会集団の間)の複雑な相互牽制作用(**check and balance**)が活発に行われているような国ないし時代

…実体としての権力が弱い

…このような状況では立憲主義や自由民主主義のイデオロギーが権力観と結びつきやすい

∴立憲主義…憲法で政治権力を牽制

自由民主主義…自由な市民が政治権力を運営

国民は、自分たちが作った政府だからこそ従う

他国民が作った政府には従わない

つまり、どちらの国の軍事力が上か(=どちらの国の方が「実体」としての権力が強い)とかいった理由で、服従する政府を決めているのではなく、あくまで自分たちとの関係重視

→自由民主主義は関係的権力観と親和的

e.g.)西欧

## ②一次元～三次元的権力観 (Steven Lukes)

- ・権力を三つの次元で捉える
- ・一次元、及び二次元は従来からあった権力観
- ・Lukes は一次元及び二次元では権力は捉えきれないとして三次元的権力観を主張
- ・Lukes は関係的権力観の立場に立つ

■一次元的権力観 (多元主義者の権力観)

…続く。乞うご期待!

これで大体、今まで授業でやった分の半分弱です。

週末遊び呆けたんであまり進みませんでした。ごめんちゃい(>\_<)

次回の授業では new レジュメが必要となるので、お忘れなきよう。

念のため↓

<http://politics-komaba.c.u-tokyo.ac.jp/seiji/>

パスワード : bun1